

令和8年6月定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和8年6月24日（水）13時30分から14時10分まで
2. 場 所 中央公民館 講義室
3. 出席委員 教 育 長 宮 本 隆
教育長職務代理 鈴 木 淳 子
教 育 委 員 本 城 慎 之 介
教 育 委 員 藍 原 尚 美
4. 事 務 局 こども教育課長
生涯学習課長
こども教育課児童係長
こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長
生涯学習課課長補佐兼社会教育係長
生涯学習課文化振興係
生涯学習課図書館長兼図書館係長
5. 傍 聴 人 0人

1. 開会

<こども教育課長>

それでは定刻となりましたので、ただいまより令和8年6月定例教育委員会を始めます。なお、大藤委員から欠席の連絡を受けておりますので、御報告します。それでは、宮本教育長より御挨拶をお願いします。

2. 教育長あいさつ

<宮本教育長>

皆さん、こんにちは。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。1学期もほぼ半ばを過ぎたところですが、2学期からの運用開始を目指している取組が2点あります。1点目は、小学校3校に設置する校内教育支援センターについてです。教室は既に確保されていますが、今後、必要な備品を整え、併せて3校共通の「利用の手引き」を教育委員会として作成しているところです。学校内にこうした施設を設置するに当たり、どのように利用するかという利用規定が必要になるためです。完成しましたら改めてお示しします。2点目は、カスタマーハラスメント対策についてです。町では5月から6月にかけて方針・要綱・マニュアルを整備し、カスタマーハラスメント対策の運用を始めました。学校からも早期に整備してほしいとの要望があることから、町で作成したものを原案として、学校・児童館・保育園等を対象とするマニュアルを現在作成しています。名称については「カスタマーハラスメント」という表現ではなく、学校等と保護者・家庭との良好な関係づくりを趣旨としたものを検討しており、東京都の事例なども参考にしています。また、町のマニュアルには教育委員会事務局職員や歴史民俗資料館等の職員が対象として含まれていない部分があります。このため、教育委員会事務局や文化施設職員を対象とするものと、学校・児童館・保育園等を対象とするものの2本立てで整備を進めています。いずれも完成しましたら御覧いただきたいと思います。本日はよろしくお願いします。

<こども教育課長>

ありがとうございました。それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。３．報告事項以降の進行につきましては、教育長にお願いします。

３．報告事項

＜宮本教育長＞

それでは、報告事項（１）教育委員会行事・事業報告についてお願いします。

＜こども教育課長＞

教育委員会行事・事業報告について説明します。期間は、令和８年５月２３日から令和８年６月２４日までです。月日、内容及び場所の順に報告します。

５月２３日 中部小学校運動会（中部小学校）

５月２４日 ユナイテッド・ワールド・カレッジ I S A K ジャパン卒業証書授

与式（UWC I S A K J a p a n）

５月２７日 軽井沢交通安全協会定期総会（軽井沢警察署）

５月２８日 辰雄忌（泉洞寺）

５月２９日 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（上越文化
会館）

５月３０日 西部小学校運動会（西部小学校）

６月１日～６月１５日 議会６月第１回会議（役場）

６月５日 東部小学校運動会（東部小学校）

６月７日 第５４回軽井沢町消防団消防ポンプ操法大会（軽井沢プリンスホテ
ルスキー場第１駐車場）

６月１８日 軽井沢青年会議所創立５２周年祝賀会（ホテル音羽ノ森）

６月１９日 第１回社会教育委員定例会（中央公民館）

６月２０日 ユニバーサルスポーツ祭開会式（風越体育館）

６月２４日 町校長会（軽井沢高校）、同日午後６月定例教育委員会（中央公民
館）

続きまして、議会 6 月第 1 回会議における教育委員会関係の内容です。

議案は 2 件提出しました。

1 中部小学校食器食缶洗浄機購入

契約額 781 万円

納期 令和 8 年 8 月 14 日

平成 20 年度に購入した既設機器が長期使用により老朽化しているため、更新するものとして議決をいただきました。

2 中保育園屋根外壁塗装補修他工事

契約額 7,150 万円

工期 令和 9 年 3 月 19 日まで

屋根及び外壁等の経年劣化が進んでいることから、塗装・補修、一部屋根の張替え及び構造部の補修等を行う工事契約について議決をいただきました。

一般質問については、4 名の議員から御質問をいただきました。主な内容と答弁の概要は次のとおりです。

・横須賀議員からは、生成 A I 時代に学校が教えるべきこと、考える力の育成、生成 A I の利用実態把握、教員研修及び町としての推進方針等について質問がありました。

生成 A I の学校での利用状況については教員の活用状況を把握しているが、家庭での利用実態は現時点では把握していないこと、活用方針について検討を進めていること、情報モラル教育や教員研修は今後も継続すること、A I 活用指針を今年度中に策定する予定であることを答弁しました。

・小山議員からは、不登校やフリースクール、学級閉鎖時の I C T 活用について質問がありました。

表現については「様々な理由により学校へ通えない、または通いにくい児童生徒」とし、オープンドアスクールの募集や紹介においても同様の表現を用いること、フリースクールへの支援については面談やニーズ調査を踏まえて検討していくこと、学級閉鎖時の I C T 活用ガイドラインを作成していきたい旨を答弁しました。

・中沢議員からは、学校給食費支援金の交付方法、町の子育て政策への活用、保育園給食費の無償化及び地産地消の推進について質問がありました。

国及び県からの支援金はそれぞれ交付される見込みであり、町の試算では約 5,540 万円を見込んでいること、町の自主財源の活用については施策の継続性

や平等性を考慮して検討すること、保育園給食費の完全無償化については慎重に検討する必要があること、令和8年8月から町立保育園における主食提供を正式に開始し、軽井沢産農産物の活用について今後研究していくことを答弁しました。

・小林議員からは、軽井沢学の副教材の活用や地域人材の活用について質問がありました。

副教材は小学校3年生に配布し授業等で活用していること、教職員研修では地域の講師にも活躍いただいております今後継続していくこと、大人向け教材や学習機会については生涯学習課の所管として検討していくことを答弁しました。補正予算では、追分宿郷土館保存修理工事に係る事業費の年度配分を見直しました。4月1日に制限付き一般競争入札を公告しましたが応札者がなく不調となり、令和8年度の工事期間が短縮される見込みとなったため、令和8年度の工事請負費及び監理委託費を減額し、令和9年度の債務負担限度額を増額する補正をお願いしました。

一般質問では、小林議員から軽井沢学の発展に関する質問をいただき、大人世代向けの学習について町勢要覧等の活用を検討すること、こもれび講座の利用状況では防災講座が最も多いこと、現役世代向けのSNS等による動画発信についてはニーズ調査や費用対効果も含めて研究していくことを答弁しました。以上です。

<宮本教育長>

教育委員会行事・事業報告について、何かございますか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

続いて、(2)教育委員会の行事日程についてお願いします。

<こども教育課長>

教育委員会行事日程について説明します。月日、内容及び場所の順です。期間は、令和8年6月26日から令和8年7月22日までとなっています。

6月26日 議会全員協議会（役場）

6月26日 博物館等施設運営協議会（中央公民館）

6月27日 スミセイ Vitality カップ J V A 第46回全日本バレーボール小学生大会（軽井沢風越公園総合体育館）

6月30日 第82回国民スポーツ大会軽井沢町実行委員会設立総会及び第1回総会（中央公民館）

7月3日 第68回長野県町村教育長会研修総会（阿智村中央公民館ホール）

7月8日 水難危険箇所パトロール開会式（中央公民館）、その後各箇所のパトロール

7月8日 市町村教育委員会と県教育委員会との懇談会（東信教育事務所）

7月12日 『私たちの学校』づくり」軽井沢フォーラム2026（中央公民館2階大講堂）

7月13日 3市町理事者会議（小諸市）

7月22日 町校長会（西部小学校）、同日午後7月定例教育委員会（中央公民館）

以上です。

<宮本教育長>

教育委員会の行事日程について、何かございますか。

<教育委員>

—承 認—

<宮本教育長>

続いて、(3) 各種行事への後援等についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

各種行事への後援等について5件報告します。いずれも令和8年5月16日から6月15日までの間に申請があり、過去に後援等の実績があることから、教育長専決で後援又は協力を承認したものです。

- 1 「自然の中で自分たちだけの舞台を創ろう！」
- 2 「軽井沢大賀ホール 2026 秋主催公演」
- 3 「軽井沢大賀ホール 2026 冬主催公演 鈴木優人指揮 バッハ・コレギウ
- 4 「浅間国際フォトフェスティバル 2026 PHOTO MIYOTA」
- 5 「軽井沢ショー祭 2026 (第27回)」

以上です。

<宮本教育長>

各種行事への後援等について、何かございますか。

<教育委員>

—承 認—

<宮本教育長>

続いて、(4) 第78回軽井沢夏期大学開催についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

第78回軽井沢夏期大学の開催について報告します。

期 間 令和8年8月10日(月)から8月12日(水)まで

場 所 中央公民館

今回は6名の講師による講演を予定しており、講師及び演題の詳細は資料のとおりです。8月9日は長野県知事選挙の投開票日であり、中央公民館では開票事務が夜遅くまで行われる予定ですが、その翌日からの夏期大学開催に向け、準備を滞りなく進めていきます。

<宮本教育長>

第78回軽井沢夏期大学開催について、何かございますか。

<教育委員>

—承 認—

<宮本教育長>

続いて、(5) 児童館利用状況についてお願いします。

<こども教育課児童係長>

令和8年5月分の児童館利用状況について報告します。

東地区児童館 1,157人(前年同月比97%)

中地区児童館 2,898人(同90%)

西地区児童館 2,031人(同81%)

中軽井沢児童館 239人(同66%)

南地区児童館 918人(同128%)

長倉地区児童館 320人(同85%)

児童館及び放課後子ども教室それぞれの利用者数については、資料のとおりです。

以上です。

<宮本教育長>

児童館利用状況について、何かございますか。

<教育委員>

—承 認—

4. 協議事項

<宮本教育長>

それでは、4. 協議事項（1）行事への後援等についてお願いします。

<こども教育課長>

資料に基づき、「軽井沢・御代田ビジネスコンテスト」への後援について説明します。

申請者 一般社団法人軽井沢青年会議所理事長

実施日 令和8年10月25日（日）

場 所 軽井沢町中央公民館

参加費 無料

軽井沢・御代田地域に関わる人材の増加を目指し、中高生が地域社会における主体性を育み、地域への愛着心を形成することを目的としたビジネスコンテストです。

対象は、軽井沢町又は御代田町に居住又は在学する13歳から17歳（中学1年生から高校3年生）で、地域の課題解決や魅力向上をテーマとした企画発表を行います。優秀賞の企画については、1日事業体験の実施に向けた費用支援及び運営サポートを行う予定です。

以上です。

<宮本教育長>

「軽井沢・御代田ビジネスコンテスト」への後援について、何かございます

か。

<教育委員>

—承 認—

5. その他

<宮本教育長>

続いて、5. その他についてお願いします。まず、軽井沢オープンドアスクールについてです。

<こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長>

『わたしたちの学校』づくり 軽井沢フォーラム 2026』について報告します。

日 時 令和8年7月12日（日）14時から17時まで

場 所 中央公民館2階大講堂

軽井沢オープンドアスクールの設置に向けたフォーラムを昨年度に続き開催するもので、3部構成とします。第1部は設置準備会委員によるシンポジウム、第2部は参加者によるグループワーク、第3部は意見の共有及び委員への質疑応答です。

登壇予定の設置準備会委員7名は資料のとおりです。町ホームページでは6月22日付けで案内を公開しており、学校関係者へは本日6月24日15時に案内を配信する予定です。教育委員の皆様にも御都合が合えば御参加いただき、意見交換に加わっていただければと思います。

<宮本教育長>

軽井沢オープンドアスクールに関するフォーラムについて、何かございますか。

<教育委員>

—了 承—

<宮本教育長>

続いて、「季報 教育委員会」についてお願いします。

<こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長>

「季報 教育委員会」について報告します。

教育委員会の取組について、町ホームページや広報紙などで発信してきましたが、紙媒体を中心に情報を得ている方にも学校の現状を知っていただくため、新たに季刊の「季報 教育委員会」を作成するものです。

第1号では、学芸員の紹介やイベントの様子、『わたしたちの学校』づくり」及びオープンドアスクール設置に向けた準備の様子、各学校の実践例などを写真とともに掲載します。教育委員会の横顔として、宮本教育長と担当職員の紹介も掲載します。

年間4回程度の発行を予定しており、約700部をカラー印刷して回覧板により町内各地区へ配布します。今後は校長先生や教育に関わる町民の紹介なども行い、内容を充実させていきたいと考えています。

<宮本教育長>

「季報 教育委員会」について、何かございますか。

<教育委員>

—了 承—

<宮本教育長>

続いて、離山図書館についてお願いします。

<生涯学習課図書館係長>

離山図書館について報告します。

離山図書館は開館 50 周年を迎えます。7 月からの開館期間中、50 周年記念イベントとして 3 回のトークセッションや館内ツアー、離山に関連した企画などを予定しており、ポスター及びチラシを配布しています。

また、離山図書館を利用した経験があり、建物や建築を題材とした著書のある講師を招き、文化講座を図書館多目的室で開催します。

開館期間については、ある団体から延長を求める提言があったことから、今年度及び来年度の 2 年間は従来より 1 か月延長し、10 月末まで開館することとしました。その間、利用状況のアンケート調査を実施し、結果を踏まえて今後の開館期間の在り方について博物館等施設運営協議会及び教育委員会で協議していきます。

<宮本教育長>

離山図書館について、何かございますか。

<教育委員>

—了 承—

<宮本教育長>

続いて、新庁舎周辺整備事業についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

新庁舎周辺整備事業について報告します。

新たに整備する交流センターについて、指定管理者制度など官民連携手法の導入可能性を調査し、事業条件を検討する業務を実施することとなり、プロポーザルの結果、株式会社三菱総合研究所が最優秀提案者として選定されました。委託内容は、交流センターの使い方や料金区分、予約方法、施設管理における官民の役割分担などの課題整理と事業スキーム案の作成、候補事業者へのサウンディング調査による参入可能性・課題の把握、中央公民館利用者や今後利用を期待する住民へのヒアリング支援などです。これらを踏まえ、民間活力導入の可否を判断し、導入する場合には公募条件の作成まで行う計画です。

<宮本教育長>

新庁舎周辺整備事業について、何かございますか。

<教育委員>

—了 承—

<宮本教育長>

続いて、町文化施設の視察についてお願いします。

<生涯学習課文化振興係>

町文化施設の視察について報告します。

7月22日の定例教育委員会終了後、歴史民俗資料館、追分宿郷土館及び堀辰雄文学記念館で開催中の夏の特別企画展を、教育委員の皆様に視察していただく予定です。移動にはマイクロバスを使用します。

事務局職員についても、参加できる者は視察に同行し施設の状況を把握してもらいたいと考えています。また、社会教育委員にも声をかけ、教育委員と社会教育委員が意見交換を行う機会とすることも検討しています。

<宮本教育長>

町文化施設の視察について、何かございますか。

<教育委員>

—了 承—

<教育委員>

関連して質問があります。中央公民館を火曜日と水曜日の午後３時から、中学生の居場所として提供するという案内を受けました。また、児童館のお便りにも中学生の利用を促す案内が掲載されていますが、学校からの帰りに立ち寄り、勉強や談話ができる場所として提供しているという理解でよろしいでしょうか。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

まずは場所を提供してみることから始めており、そのうえで、どの程度中学生が利用するかを確認しながら、希望があれば対応できる範囲で環境整備を進めていきたいと考えています。中央公民館にはW i - F i もあり、中学生・高校生にとって利用しやすい条件の一つになると考えています。勉強の場として利用していただいても構いませんし、友人同士で談話をして過ごしていただくことも想定しています。

他の利用者に迷惑をかける行為があれば、職員として注意を行います。新庁舎の交流センターも同様の居場所機能を持つことを想定しており、そのモデルケースとして中央公民館での取組を進めているものです。

<教育委員>

分かりました。ありがとうございます。

<宮本教育長>

ほかにございますか。

<教育委員>

—了 承—

<宮本教育長>

それでは、進行をお返しします。

6. 閉会

<こども教育課長>

ありがとうございました。

来月の定例教育委員会は、先ほど説明しましたとおり、7月22日（水）午後1時30分から中央公民館で開催します。

それでは、以上をもちまして令和8年6月定例教育委員会を閉会します。ありがとうございました。